



### 風しんの患者数が増加しています

昨年からの風しん患者の報告は、増加しています。風しんの増加傾向は数年持続するといわれています。今後も風しんや先天性風疹症候群の増加傾向が持続することが懸念されています。

### 妊娠初期に先天性風疹症候群に感染すると

妊娠中に風しんにかかると胎児が風疹ウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、そして精神や発達遅れ等の障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。

### 風しんを予防するためにも、抗体が十分でない方は予防接種を受けましょう

免疫を持たないと大人

## 日本脳炎 予防接種について

西日本地域は、蚊も多いといわれる地域です。ウイルス感染を予防するためにも接種対象者は予防接種の効果、副反応を理解したうえで接種をしてください。

### 日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスは、ヒトから直接ではなく、ブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。7日から10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれん等の症状を示す急性脳炎になります。感染者のうち100〜1000人に一人が脳炎を発症します。脳炎のほか髄膜炎や夏かぜ様の症状でおわる人もいます。脳炎にかり、神経の後遺症を残す人が多くいます。

### 公費負担で接種できます

平成17年の積極的勧奨の差し控えにより、特例措置として接種機会を逃した対象者も定期予防接種として公費負担で接種できます。4月1日から特例措置の対象者が拡大しました。

町内接種医療機関 ※接種曜日、接種時間等事前に医療機関にお問い合わせください。

医療機関名	電話番号	定期予防接種	
		日本脳炎	MR
いりえ小児科医院	932-9600	○	○
うみ小児科医院(要予約)	410-8766	○	○
おかべ小児科クリニック	933-7161	○	○
岡部病院(要予約)	932-0025	○	○
神武医院	932-0188	○	○
山崎産婦人科小児科医院	933-8000	○	○

### 特例措置対象者…平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの方

予防接種の種類	回数	接種対象者
日本脳炎	1期初回	2回
	1期追加	1回
	2期	1回
		・生後6か月～7歳6か月に至るまでの間にある方 ・特例措置 平成7年4月2日～19年4月1日生まれの方 ・9歳以上13歳未満 (13歳になる日の前々日までの接種) ・特例措置 平成7年4月2日～19年4月1日生まれの方 ※上記特例措置対象者は、1期初回・追加・2期 9歳未満は、計3回、9歳以上は計4回に不足する回数の接種を定期予防接種として公費負担で接種ができます。 (接種間隔が空いていても初めから接種する必要はありません。) 詳しくは、医療機関または町健康福祉課健康づくり推進室にお問い合わせください。

### 風しんの定期予防接種対象者

予防接種の種類	回数	対象者
MR (麻しん風しん)	1期	1回
	2期 (26年度小学1年生)	1回
		生後12か月～24か月に至るまでの間にある方(2歳の誕生日の前日まで)
		平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれの方 接種期間:平成26年3月31日まで

### 接種時必要なもの

- 母子健康手帳
- 予防接種予診票手帳

風しん予防接種の記録は、免疫の有無の確認等のため将来必要となります。大切に残しておきましょう。

### 子宮頸がん予防接種の積極的勧奨の見合わせについて

平成25年4月1日から予防接種法に定められ定期予防接種として実施している子宮頸がん予防接種の実施を積極的に勧奨することを見合わせる事となりました。

定期予防接種を中止するものではありません。対象者で接種を希望される方は、ワクチン接種の有効性、接種による副反応について、十分説明を受け理解したうえで接種を受けるようにしてください。

接種勧奨の再開の際は、広報うみ等でお知らせいたします。

厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000034kbt.html>